



2022-23 日本音楽表現学会 会長・理事選挙公示

目 次

【巻頭言】研究成果のあり方を考える	寺内 大輔	2
日本音楽表現学会 2022-23 年度会長・理事選挙	選挙管理委員長 田邊健太郎	3
【随想】音楽史的思索の愉しみ	上山 典子	8
新入会員紹介		9
日本音楽表現学会後援コンサート等情報		10
会員による CD/DVD 等リリース		11
会員による新刊案内		11
第 20 回「ソナーレ」大会発表募集		12
事務局からの重要なお知らせとお願い		13
日本音楽表現学会第 20 回（ソナーレ）大会のご案内		16
2021 年度役員・委員等一覧		16
編集後記		16

日本音楽表現学会

所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

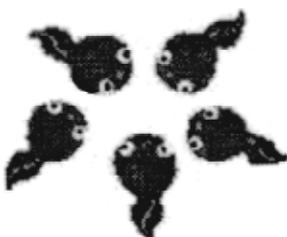
E-mail : music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円

振込先：A) 郵便局振込用紙利用 01370 = 6 = 78225 日本音楽表現学会

B) ゆうちょ銀行へ振込 いちさんきゅう 一三九 (139) 店 (当座) 0078225 日本音楽表現学会



研究成果のあり方を考える

寺内大輔（作曲・即興演奏）

研究成果としての学術論文においては、筆者の主張を裏付けたり補強したりするために、図、表、写真、楽譜、録音、録画、等々がしばしば重要な役割を果たす。ただ、それらは、いくら重要な役割を果たそうとも、あくまでも論文を支える副次的なものとして位置づくことには変わりはない。それは学術論文というフォーマットの宿命でもある。

しかしながら、近年注目が高まっている ABR (Arts-Based Research) と呼ばれる考え方のなかには、研究成果を学術論文ではなくアートによって発信するという試みが含まれている^{脚)}。実際、学術論文というフォーマットから少し離れてみるだけで、学術論文では副次的に位置付けられるものがメインとなり、さらにはそれが高い芸術的価値をそなえているような研究成果が少なくないことに気付く。例えば『バリ島人の性格—写真による分析』(1942)の著者のひとり、G. ベイトソンは優れた写真家でもあった。写真をふんだんに用いて発表された同書は、人類学分野の学術的研究成果であると同時に写真家としての彼の芸術的成果のようにも見える。また、S. アレクシエーヴィチの『戦争は女の顔をしていない』(1985)における元兵士へのインタビューの記述は、歴史学の研究成果であると同時に文学作品としても高く評価されている。さらに、いわゆる「ドキュメンタリー映画」と呼ばれるようなジャンルのあり方もそのような例に数えられるだろう。

音楽表現の分野ではどうだろう。例えば、私の母校は音楽大学であるが、そこでは作曲研究の成果は作品によって、演奏研究の成果は演奏によって発表することになっていた。このように「実践」が「論文」と並ぶ重要な研究成果だと見做されるのは、私の母校に限ったことではなく、音楽表現の分野において伝統的に受け入れられてきた考え方である。

近年の ABR への関心の高まりは、音楽表現そのものを学術的研究の成果として位置付けることへの追い風のように思えるのだが、では、そのように位置

付けることのできる音楽表現実践とはどのような実践だろうか。この問いは、ABR の課題とも重なっている。「その成果は一般化できるの?」「評価はどのように可能なの?」「それって本当に『学術的』なの?」などの、多くの人が素朴に抱きそうな疑問についてさえも、決定的な解答を示すことは容易ではなさそうだ。

少なくとも言えることは、笠原 (2019) が「芸術を通して私たちは何かを見出し、新たな知を得ていることを実感し理解もしている」(p.114) と述べているように、芸術は私たちに様々な知をもたらしているということだ。そして、そのような知は、しばしば、論理的な言葉に翻訳しようとすればするほど本質から遠のいてしまう—ABR の考え方は、そのことを改めて議論する機会をもたらしてくれそうである。そして、これからの研究成果のあり方の広がりを考えていくことは、私たち「音楽表現学」に取り組む研究者にとって、とても大切なことのように思える。

【注】

Arts-Based Research の概略、背景、歴史、課題、動向については、伊東 (2018)、小松 (2018)、笠原 (2019)、岡原ほか (2020) などで紹介されている。

【参考文献】

- アレクシエーヴィチ, S. (2016, 原著は 1985) 『戦争は女の顔をしていない』, 三浦みどり訳, 岩波書店.
- 伊東留美 (2018) 「アートベース・リサーチの展開と可能性についての一考察」『南山大学短期大学部紀要』第 1 号, pp.203-213.
- 岡原正幸編著 (2020) 『アート・ライフ・社会学—エンパワーするアートベース・リサーチ』, 晃洋書房.
- 笠原広一 (2019) 「Arts-Based Research による美術教育研究の可能性について—その成立の背景と歴史及び国内外の研究動向の概況から—」『美術教育学』第 40 号, pp.113-128.
- 小松佳代子 (2018) 『美術教育の可能性—作品制作と芸術的省察』, 勁草書房.
- ベイトソン, G., ミード, M. (2001, 原著は 1942) 『バリ島人の性格—写真による分析』, 外山昇訳, 国文社.

日本音楽表現学会 2022-23 年度会長・理事選挙

選挙管理委員長 田邊健太郎

選挙管理委員会のごあいさつ 2022年7月1日～2024年6月30日任期の会長・理事選挙は、田邊健太郎、牛渡克之、松井萌の3名が選挙管理委員会のメンバーとして、業務を担当いたします。間違いが起こらないように慎重に取り組みたいと考えていますので、よろしく願いいたします。委員会の任務は「1.」の7点です。みなさまのご協力を得ながら、任務を滞りなく進めていきたいと思っております。ご協力をよろしく願いいたします。

選挙公示：選挙規定に基づいて、2022-23年度役員選挙を以下のように公示します。

1. 選挙管理委員会の任務：

- 1) 選挙日程案の作成
- 2) 選挙資格者及び被選挙資格者名簿の確認
- 3) 選挙の公示
- 4) 投票用紙の作成
- 5) 投票用紙の送付・回収・開票
- 6) 選挙結果の報告
- 7) 2022-23年度役員決定の事務手続き

2. 選挙実施方法：以下の規定に基づいて進めます。

日本音楽表現学会選挙規定

- | | |
|---|---|
| 1. 選挙方法は無記名投票による。 | 6. 投票用紙の記載が不明確な票については、選挙管理委員会が有効か無効かの判定を行う。 |
| 2. 投票権者の確認は、返信用封筒に記された発信人名によって行う。発信人名の記入が無いときは、封入されたすべての投票は無効とする。 | 7. 投票用紙または投票用紙用小封筒に、投票者名が特定できる記載がなされているときは、その投票はすべて無効とする。 |
| 3. 投票権者は、選挙管理委員会指定の投票用紙を用いて、定められた期日までに委員会に到着するように投票しなければならない。理由の如何を問わず、代理投票は認められない。 | 8. 選挙管理委員会は、当選者、次点者および次々点者の氏名と順位、得票数を選挙結果報告書に記載し、開票に立ち会った委員全員の署名を付して会長に提出するものとする。 |
| 4. 候補者が定数を超える場合には、投票用紙には、定められた人数以内の被選挙人名を記入するものとし、これを超えて記入した場合は全部無効とする。 | 9. 役員の任期は当該年度7月1日から始まるものとする。 |
| 5. 候補者が定数と同数の場合には信任投票とし、投票用紙に記載された候補者名簿の信任する被選挙人の氏名の上に○印を記入するものとする。 | 10. 役員に欠員を生じたときは、理事会はすみやかにこれを補充する。その任期は前任者の残任期間とする。 |
| (2) 投票総数の1/2を超える○の記入があるときに、候補者は信任を得たものとみなす。 | 附則1. 本規定は2004年2月1日から実施する。 |

2. 2010年6月12日改正
3. 2012年6月23日改正
4. 2019年6月15日改正
5. 2020年6月13日改正

3. 2021-22 年度 会長・理事選挙の概要：

選出役員：会長 1 名、理事 8 名

任 期：2022 年 7 月 1 日（金）～ 2024 年 6 月 30 日（日）

方 法：推薦・立候補制

推薦・立候補受付期間：2022 年 1 月 4 日（火）～ 2 月 4 日（金） 当日消印有効

被推薦者・立候補者の公示および投票用紙等の作成

文書送付：2022 年 2 月 13 日（日）

投票方法：無記名投票で郵送

投票期間：2022 年 2 月 15 日（火）～ 3 月 15 日（火） 当日消印有効

開 票：2022 年 3 月 20 日（日）

（結果を即日会長へ報告、ニューズレター 2021-No.3 に掲載）

結果承認：2022 年 6 月 18 日（土） 於：2022 年度総会

4. 選挙日程：

選挙公示	2021 年 11 月 30 日（火）	於：「ニューズレター 2021-No.2」誌上
推薦・立候補受付期間	2022 年 1 月 4 日（火）～ 2 月 4 日（金）	当日消印有効
被選挙人名簿、投票用紙等の作成・送付	2022 年 2 月 13 日（日）	於：学会事務局
投票期間	2022 年 2 月 15 日（火）～ 3 月 15 日（火）	当日消印有効
開票・選挙結果を会長へ報告	2022 年 3 月 20 日（日）	於：学会事務局

5. 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き：

推薦・立候補に関する手続きは以下の通りです。本学会の充実と発展のために会長と理事に相応しいと思われる方を候補として選出します。会員のみなさまの積極的な推薦や立候補をお待ちします。

2022-23 年度会長・理事の推薦・立候補に関する手続き

1. 推薦・立候補受付期間：2022 年 1 月 4 日（火）～ 2 月 4 日（金） 当日消印有効

2. 提出書類：（選挙の公示時に公表）

1) 推薦の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は（様式 1、2、4、5）をご参照下さい。

・ 1 名の推薦につき、推薦者 2 名と推薦理由 A 4 用紙 1 葉

・ 本人の承諾書と簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

2) 立候補の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は（様式 3、6）をご参照下さい。

・ 学会に関するポリシー A 4 用紙 1 葉

・ 本人の簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

* 紙媒体は郵送で、データはメールでお送り下さい。

3. 送付先：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

日本音楽表現学会気付選挙管理委員会

2022-23 年度会長・理事選挙 推薦および立候補届出様式 (A4 サイズ)

<p>(様式 1 [会長推薦]) 2022-23 年度会長選挙推薦用紙 以下の方を会長候補者として推薦いたします。 被推薦者氏名; _____ 推薦理由</p>	<p>(様式 2 [会長推薦]) 2022-23 年度会長選挙推薦承諾書 会長候補者としての推薦を承諾いたします。 被推薦者氏名 (自署); _____ 経歴; 主な研究業績 (5 ~ 10 点)</p>	<p>(様式 3 [会長立候補]) p.1 2022-23 年度会長選挙立候補用紙 私は、会長候補者として立候補いたします。 立候補者氏名 (自署); _____ 学会に関するポリシー;</p>	<p>p.2 経歴; 主な研究業績 (5 ~ 10 点) 本学会におけるこれまでの活動</p>
<p>(様式 4 [理事推薦]) 2022-23 年度理事選挙推薦用紙 以下の方を理事候補者として推薦いたします。 被推薦者氏名; _____ 推薦理由</p>	<p>(様式 5 [理事推薦]) 2022-23 年度理事選挙推薦承諾書 理事候補者としての推薦を承諾いたします。 被推薦者氏名; _____ 経歴; 主な研究業績 (5 ~ 10 点)</p>	<p>(様式 6 [理事推薦立候補]) p.1 2022-23 年度理事選挙立候補用紙 私は、理事候補者として立候補いたします。 立候補者氏名 (自署); _____ 学会に関するポリシー;</p>	<p>p.2 経歴; 主な研究業績 (5 ~ 10 点) 本学会におけるこれまでの活動</p>

個人情報に付き、伏せています。

個人情報に付き、伏せています。

音楽史的思索の愉しみ

上山典子（音楽学）

西洋音楽の歴史研究に取り組んでいると、時代区分の名称やその切れ目に関して、ああでもない、こうでもない、とひたすら堂々巡りの思考に陥って愉しむ、ということがあります。1600年1月1日の日付変換を機にルネサンスからバロック様式へと様変わりし、1750年（7月28日の）J. S. バッハ（1685-1750）の死をもってその時代の幕が下りたと宣言したいわけではないのですが、こうした音楽史的時空の流れのどこかに、線引きを試みてみたくなるのです。続くバロック様式から古典派と呼ばれる時代への転換期（転換点とは言えないまでも）も同じく、国や地域、場合によっては都市別に、様々な線（直線、曲線、斜線、点線・・・）を引いてみる作業はやはり面白く、どうしても止められません。もちろんそこに一つの正答があるわけではないので、何の意味があるのか、線引き自体がそもそも恣意的、前時代的手法、という批判を矢継ぎ早に受けること確実でしょう。

バッハ中心史観で構築された一時期のドイツ音楽史であれば、1750年は一つの時代の終焉としてもっともふさわしかったことでしょう。しかしイタリアにおける1750年は、作品史や様式史的にはもちろん、社会史や文化史的観点からも、転換期とする力強い根拠は見当たりません。むしろ、この地域における古典派への移行は、早ければ1720年頃から徐々に、しかし確実に進んでいた、とされています。フランスにおいても、1750年が区切りとなっているわけではありません。この国における次の時代への移行や転換は、1730年代頃から興隆したロココ様式や続くギャラント様式、そうした様式に特徴づけられる創作、そしてなによりもこの時代の音楽文化を象徴する/あるいはそのものだったルイ王朝の宮廷文化、そして政治体制など、当時のフランス社会のあらゆる事象の網目の中に見出すことができそうです。

一方、20世紀への転換はそれまでのどの時代よりも、狭い意味での音楽だけでなく、社会史や政治史との関わりが強く表れています。ドビュッシーの《牧神の午後への前奏曲》初演（1894）、シェーンベルクによる調性の崩壊（1908）、ストラヴィンスキーの《春の祭典》初演（1913）といったある特定の作品の登場や音楽史的“事件”ではなく、音楽史の転換期を社会・政治史の切れ目と共有する（同一視する）ことは、音楽学研究領域におけるもっとも有力な見方となって久しいと言えるでしょう。音楽史における「19世紀」

も、いまやベートーヴェンの死やロマン主義の時代精神といった文化史的現象よりも、ヨーロッパ近代社会の成立をもたらしたフランス革命を起点に、やはり西洋の社会構造を根底から揺さぶり、覆すことになる第一次世界大戦勃発まで、という歴史家エリック・ホブズボームの言う「長い19世紀」がほぼ定着しています。

時代名称ほどの時空的広がりを持たないものの、モダニズムや新古典主義など、ある明確な特徴の共有や、ある特定の傾向・動向に対する用語の思索も、これまた面白いものです。その曖昧さに興味を惹かれるのが、「新ロマン派」（あるいは「新ロマン主義」Neuromantik）です。元々は19世紀初頭の文学理論や美術史から借用された名称で、19世紀後半～20世紀半ば頃のドイツ語圏を中心とする音楽史記述にしばしば、しかし時期によって多様な意味合いの下に使われてきました。

時代的にもっとも初期の例としては、1830年代頃に新しい創作を展開したメンデルスゾーン（1809-47）やシューマン（1810-56）の様式に対する適用が確認されます。1870年代頃になると、リスト（1811-86）と彼の進歩的一派を意味する「新ドイツ派」とほぼ同義語またはその代替名称として流通していました。そして20世紀初頭までには、ロマン主義時代の新たな語法に基づく様式（時に「後期ロマン派」と同義語あるいはその代替）と理解されるようになっていました。しかしモダニズムの時代を経て、無調が主流となった20世紀も半ばになると、「新ロマン派」は調性に基づくロマン的音楽を指すようになり、以前のような進歩的で革新的傾向ではなく、むしろ後退的で懐古趣味的な様式と理解されるようになりました。そしてその後再び、少なくともドイツ語圏では、ロマン主義時代の後半に現れた進歩的様式を意味する概念に回帰していききました。

こんにちの音楽著述では、この用語自体をほとんど見かけなくなりました。一時期同義語として流通した「後期ロマン派」の方は、音楽批評やジャーナリズムの領域で時折見かけるように思います。なぜ？、代替名称は？、とこの話題をもう少し引き延ばしたいところなのですが、個人的楽しみとして“ステイホーム”の余暇に行うことをお勧めします、という声が聞こえてきそうなので、これにて思索を終えることにいたします。

新入会員紹介

個人情報に付き、伏せています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

鶴澤 友球さん

第9回 どんぐり浄瑠璃ミニライブ

日 時：2021年11月20日(土) 13:30 開演
会 場：レンタルスペースどんぐり (多可町加美区)
料 金：1,000円
出 演 者：鶴澤友球
主な曲目：『傾城恋飛脚』〈新口村の段〉
問合せ先：0799-62-5805 (鶴澤友球会事務局)

鶴澤 友球さん

鶴澤友球会主催 第5回 浄瑠璃研鑽会

日 時：2021年11月23日(火・祝) 10:00 開演
会 場：淡路市地域総合センター (一宮ふるさとセンター)
料 金：観覧無料
出 演 者：鶴澤友球・鶴澤友球会会員・稲井眞美 (朗読家)
主な曲目：『伽羅先代萩』『壺坂観音霊験記』『仮名手本忠臣蔵』ほか
問合せ先：0799-62-5805 (鶴澤友球会事務局)

鶴澤 友球さん

第10回 どんぐり浄瑠璃ミニライブ

日 時：2021年12月4日(土) 13:30 開演
会 場：レンタルスペースどんぐり (多可町加美区)
料 金：1,000円
出 演 者：鶴澤友球
主な曲目：『仮名手本忠臣蔵』〈殿中刃傷の段〉
問い合わせ先：0799-62-5805 (鶴澤友球会事務局)

藤原 嘉文さん
上野 隼さん
山本 雅一さん

山梨の作曲家による『甲州21世紀音楽展』～第1回作品演奏会～

日 時：2021年12月11日(土) 15:00 開演 (14:30 開場)
会 場：山梨大学 大村記念ホール (大村智記念学術館内) <https://omura-museum.yamanashi.ac.jp>
料 金：無料 (完全予約制)
曲 目 等：藤原嘉文《Interplay II ~ Fl. Ob. Cl. Vc. のための》
伊藤駿《sonatine for the moon》(Cl. Pf.)
山本雅一《Whimsical monologue》(ギター独奏)
上野隼《呪詛》(Sop. Pf.) 他全7作品
主 催：甲州21世紀音楽展実行委員会
予約方法：下記URLよりアクセス [form] <https://forms.gle/Hd8xvoTYcQAIxLiF8>
[HP] <https://koshu21music.wixsite.com/concert>

杉山 雄一さん

杉山雄一ヴァイオリニスト

日 時：2021年12月12日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)
会 場：兵庫県立芸術文化センター小ホール
料 金：一般 3,500円 学生 1,500円
主な内容：W. フラクトン：ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 第3番 ト長調
F. メンデルスゾーン：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ハ短調
J.S. バッハ：無伴奏ソナタ ハ短調 BWV1001
E. クロイツ：ヴァイオリンとピアノのための「リーベスピルダール」ト短調 作品

豊田 典子さん

歌の会★青い星が贈る 室内オペラ「プラハ夏の日」全2幕

日 時：2021年12月19日(日) 16:00 開演 (15:30 開場)
会 場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
料 金：前売券 3500円 当日券 4000円
主な内容：関西で活躍する中西覚氏の室内オペラを歌の会★青い星のメンバーが舞台化・初演
主催・出演：歌の会★青い星 (会員 14名)

鶴澤 友球さん **あけぼの会 ー浄瑠璃で味わう冬物語ー**
日 時：2021年12月24日(金) 18:30 開演
会 場：西宮市プレラホール
料 金：2,000円(小学生以下無料/未就学児入場可能)
出 演 者：[義太夫] 豊竹呂秀・鶴澤友球 ほか
主な曲目：『傾城恋飛脚』〈新口村の段〉
問合せ先：神戸国際ステージサービス株式会社内 あけぼの会事務局 078-230-3310

木村 貴紀さん **木村貴紀ピアノ・リサイタル**
日 時：2022年2月13日(日)
会 場：木楽輪
料 金：未定
演 奏 者：木村貴紀
主な曲目：J.S. バッハ＝ブラームス：《無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番ニ短調》
BWV1004より〈シャコンヌ〉、
ショパン：〈夜想曲〉op.9-1-3、バルトーク：〈戸外にて〉 Sz.81 BB.89 他

宮田 知絵さん **宮田知絵ソプラノ・リサイタル ～山田耕筰と齊藤武の午後～**
日 時：2022年2月23日(水・祝) 14:00 開演(13:00 開場)
会 場：大阪市中央公会堂 中集会室
料 金：3,500円
演 奏 者：宮田知絵(Sop.) 小笠原真也(Pf.) 水野重歴(Ten. 賛助)
主な曲目：山田耕筰：『風に寄せて歌へる春の歌』他
齊藤 武：『てのなかのかみさま』『夢見たものは』他

会員による CD/DVD 等リリース

寺内 大輔さん (レコード) 『坂道のような階段のような』
作 曲：寺内大輔
演 奏：Pf. 伊藤憲孝
レコード番号：Solarec-001(規格：7インチ 33回転) デジタル音源のダウンロード URL 付
出 版 社：Sola label
発行年月日：2021年9月5日
価 格：1,200円(税抜価格1,091円) ウェブショップ URL：<https://tukutukupoo.thebase.in>
紹介動画：<https://youtu.be/SIOztclvZ8A>

会員による新刊案内

寺内 大輔さん (楽譜出版) 『坂道のような階段のような』(ピアノソロ)
デジタル音源のダウンロード URL 付(演奏：伊藤憲孝)
作 曲：寺内大輔
出 版 社：Donemus
発行年月日：2021年5月20日
判型・頁数：A4判 18ページ
価 格：3,500円(製本版, 国内取扱, 税込)
13.74€(pdfダウンロード版), 22.90€(製本版)
ウェブショップ <https://bit.ly/3x9D3P5> (Donemus)
ウェブショップ(国内取扱, 製本版のみ) <https://tukutukupoo.thebase.in>

第20回(ソナーレ)大会発表募集

第20回大会は、2022年6月18日(土)―19日(日)に浜松学院大学において開催の予定です。現在のところ通常の対面による大会の実現を目指しています。しかし、コロナ第6波の到来を考慮に入れると、第18回や第19回大会のようにオンラインになる可能性がなきにしもあらずです。

そこで「対面」と「オンライン」の両方の開催を考慮に入れて「研究発表」「共同研究」「ワークショップ」「デモンストレーション」「ポスター発表」の枠を取り払い、全ての発表種を「研究発表」として一本化します。発表者が複数の場合でも複数の申込み者氏名をお記しの上「研究発表」でお申し込みください。視聴覚が必要な発表内容については対面の場合には実音・実演をお願いしますが、オンラインに変更になった場合にはURLのアドレスを記載して研究内容に対する関心喚起が図る方向で、準備をしていただければ幸いです。『音楽表現学』Vol.19の「大会報告」部分の記事をご参考にしてください。

会員諸氏には、日頃のご研究をお持ちよりいただき、ご出席のみなさまと共有、意見交換をしませんか。対面をオンラインにやむなく変更せざるを得ない場合には決定次第お知らせします。以上をお含みの上、多数のお申し込みをお待ちしています。

～ ～ ～ ～ ～ 記 ～ ～ ～ ～ ～

発表形態と時間：

研究発表：会員(単独・複数)による研究発表30分と質疑10分、計40分

発表申込：発表タイトルと発表形態および200～400字の発表要旨を下記の様式にしたがってメールでお申し込みください。複数の会員による発表の場合には必ず筆頭発表者が申し込みを行ってください。

なお、筆頭発表は学会からの委嘱を除き、一人1件です。

発表申込資格：申込み時点で2021年度会費までを完納している会員

〆 切：2022年2月15日(火)

申 込 先：学会事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp 宛。

* 『大会要項』原稿についての詳細は、申込受付後に申込者にお知らせします。

申込様式：

日本音楽表現学会第20回大会に発表を申し込みます。

2021年度までの年会費は納入済です。(冒頭の□に納入済の「✓」を記入してください)

1. 氏 名 _____

2. 連絡先住所 〒 _____

電 話 _____

E-mail _____

3. 発表題目 _____

4. 発表要旨(200～400字)

5. (対面の場合)分科会会場設置使用機器 (使用する機器の記号を記載してください)

ア) ピアノ

イ) プロジェクタとスクリーン

ウ) CD

エ) DVD

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

(1) 納入期限：その年度の4月1日から大会開催1週間前までにお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初(4月)に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

(2) 振込方法：

- ・年会費納入方法の合理化のために、昨年度から「ゆうちょダイレクト等ネットバンキング」に入金できる方法も導入しました。ネットやコンビニ等を利用して、銀行や郵便局に行かなくても納入が可能です。もちろん従来の「払込取扱票」でも構いません。年度当初の速やかな納入をお願いします。

- ・年会費納入方法：A) 郵便局からの振込(払込取扱票を利用)

(記号一番号) 01370 =6= 78225 加入者名：日本音楽表現学会

B) 他行等からの振込(店名-口座番号) いちさんきゅう

店名 一三九(139)店 預金種目：当座 口座番号：0078225

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度 学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから以下の書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

「年会費減免願」書式(20170321版)：

被災による年会費減免願	
年 月 日	
日本音楽表現学会	
会長 小西 潤子 様	
このたび、(〇〇地震)被災により、(〇〇〇〇年度)年会費の納入免除をお願いいたしたく、減免願を提出いたします。	
なお、(□□□□)年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名：	_____
現在の連絡先：	_____
連絡先電話番号：	_____
e-mailアドレス：	_____
減免申請の理由(具体的に納付困難の理由をお記してください。)	

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせをお願いします。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせさせて再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

3. 学会員のサポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は5月15日24:00です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守ですので各自で明記してください。2022年度の「ソナーレ」大会での発表募集詳細についてはp.12をご覧ください。

大会発表応募〆切は、2月15日24:00です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

右記申請フォームに必要事項を記載し、メール添付ファイルにて学会事務局に申請してください（各項目は1行39字以内を原則とします）。ホームページのリンク〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕から申請することもできます。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。HP及びニュースレターにも案内を掲載します。出演者氏名の掲載は会員のみとなります。事務局からの返信が1週間以内に届かない場合は、事務局にご連絡ください。

〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕

(文例) 以下のコンサートの後援をお願いします。

会員氏名： _____

演奏会タイトル： _____

日 時： _____

会 場： _____

料 金： _____

出 演 者： (NLには会員名のみ掲載) _____

主な曲目： (原則として1行で39字以内) _____

問い合わせ先： ホール電話番号 _____

*個人の携帯番号・メールアドレスはセキュリティ上、本会としては記載不可といたします

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニューズレターとHPに掲載します。

- ・新刊案内の項目は著者名（会員）、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格（税抜価格）、購入方法など
- ・CD, DVD の項目は制作・編集者名（会員）、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格（本体価格）、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。

代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

Vol.	会員価格（1部）	一般価格（1部）
1～3	2,500円+送料	3,000円+送料
4～14	3,000円+送料	3,500円+送料
15以降	2,500円+送料	3,000円+送料

(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。

メール等で事務局までお申し込みください。

会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。

会員価格：3,000円（正価×0.9-α、税込・送料込み）

一般価格：3,456円（税抜3,200円）

[購入申込書]

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。

氏名：_____

部数：_____

送付先：_____

連絡用E-mail：_____

6. 入会手続きについて

メール貼付でお願いします。

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。以下の書式を用いてメールで早めにお申し込みください。

- ・入会申込書はHPからもダウンロードできます。
- ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

[入会申込書フォーム]

入 会 申 込 書

日本音楽表現学会に入会を申し込みます。

年 月 日

氏名（ふりがな）：_____

専門分野：_____

会員種別：該当項目に✓を記して下さい。

正会員 学生会員（学部学生のみ）

所 属：_____（学生は学年も記して下さい。）

自宅住所：〒_____

連絡先：（上記と異なる場合）〒_____

連絡先 Tel. あれば携帯 Tel：_____

e-mail：（半角）_____

推薦者名（学生会員・1名）_____

学生会員に推薦者がいない場合には、事務局
にご相談ください。

学会に期待されること。ご意見等：

7. 退会手続きについて

メール貼付でお願いします。

退会には以下の3点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

- ① 「退会届」をHPからダウンロードし、事務局に提出
- ② その年度までの年会費完納
- ③ 理事会の承認

[退会願書フォーム]

退 会 願

年 月 日

日本音楽表現学会 会長 様

このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。

なお、今年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。

氏 名：_____

連絡先：_____

連絡先 Tel.：_____

e-mail：_____

退会理由：

日本音楽表現学会第20回（ソナーレ）大会のご案内

会 場：浜松学院大学布橋キャンパス（浜松市中区布橋三丁目2番3号）

会 期：2022年6月18日（土）-19日（日）

実行委員会 委員長：高久 新吾（浜松学院大学）

事務局長：宮本賢二郎（岐阜聖徳学園大学）

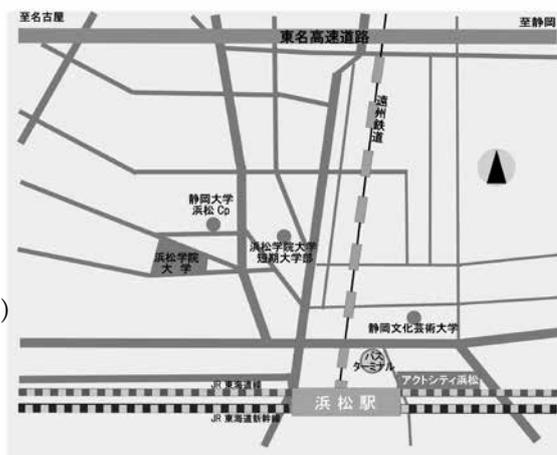
委員：内山 尚美（静岡英和学院大学）

入江 眞理（静岡産業大学）

久次米祐江（ピアニスト）

中楯 有起（浜松学院大学）

二宮 貴之（聖隷クリストファー大学）



会場への主なアクセス：JR 浜松駅北口遠鉄バスターミナル

1 番ポール発車のいずれかのバス

30 館山寺線

36 ゆう・おおひとみ ひとみヶ丘線

37 神ヶ谷 山崎線

以上いずれかのバスに乗りし「浜松学院大」下車（所要時間約11分）運賃（片道）210円

なお、遠鉄バスは、Suica, ICOCAなどの全国交通系ICカードは使用不可です。

【ソナーレ】 ラテン語で「響かせる」を意味する。この名前の防音システム開発会社もあるようです。

しかし、大会では語本来の意味を重視して、人間がこれまでに追い求めてきた響き、工夫、理念と具体について考えを深めましょう。

2021年度役員・委員等一覧

<p>会 長：小西 潤子</p> <p>副 会 長：山名 敏之 藤原 嘉文</p> <p>事 務 局 長：小野 亮祐</p> <p>財 務 局 長：渡会 純一</p> <p>理 事：杉江 淑子（事務局担当）</p> <p> 上山 典子（財務局担当）</p> <p> 澤田まゆみ（総務担当）</p> <p> 寺内 大輔（総務担当）</p> <p>編集委員会：</p> <p> 委員長 渡辺 修身</p> <p> 副委員長 小川 容子</p> <p> 委員 稲木 真司 田中 宏明</p> <p> 田中 昌司 豊田 典子</p> <p> 長谷川正規 三島 郁</p>	<p>著作権ワーキング：</p> <p> 代表 福本 康之</p> <p> 委員 近藤 晶子</p> <p> 酒井 勇也</p> <p> 高橋 豊</p> <p> 中村 滋延</p> <p>選挙管理委員会：</p> <p> 委員長 田邊健太郎</p> <p> 委員 牛渡 克之</p> <p> 松井 萌</p> <p>監事： 海津 幸子</p> <p> 小川 有紀</p>	<p>会長諮問会議：安藤 政輝</p> <p> 佐々木正利</p> <p> 後藤 丹</p> <p>参与： 中村 隆夫</p> <p> 安田 香</p> <p>参事：(事務局) 近藤 晶子</p> <p> 中村 公俊</p> <p> 長山 弘</p> <p> 似内裕美子</p> <p> 松井 萌</p> <p>デザイン室長：奥 忍</p> <p> (スタッフ)：海野万希子</p> <p> 稲垣 真世</p>
---	--	---

編集後記

長い自粛生活からやっと光が差してきたような昨今ですが、こうして皆様の寄稿やご活動の様子とともにニューズレターを発刊できることを嬉しく思います。

今号は2022-23年度会長・理事選挙関連や、第20回大会についての案内記載もごございます。第18・19回大会はオンラインや誌上発表での開催を余儀なくされましたが、来年こそは浜松での対面開催が実現できることを信じ、このニューズレターを通じて2022年に向け新たな希望を抱き、期待を膨らませていただけたらと願います。（澤田まゆみ）